



コミュニティわかつき

わ
か
つ
き
私たちが、
変えます。
創ります。
協働参画社会。

第44号

平成26年3月15日◆発行責任者 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」会長 金子 伸雄
◆事務局 TEL/FAX266-0034 メール komiwaka@bj.wakwak.com HP:URL:http://www.komiwaka.com/
◆若槻支所 TEL 296-3908 FAX 295-4529 メール wakatsuki@city.nagano.lg.jp

コミわか定期総会 4月に開催

若槻地区住民自治協議会は平成26年度の定期評議委員会（総会）を下記の日程で開きます。「自分達のまちは自分達で築く」をモットーに安全で安心できる住みよいまちづくりに新年度以降も取り組みます。

定期評議委員会では、25年度の事業報告、決算の承認、26年度の事業計画、予算などを審議します。皆様、ご参加ください。

日 時：4月19日(土) 13時30分から

場 所：若槻コミュニティセンター 体育館

サイエンスショー ～子ども科学体験教室～

今年は1月19日(日)に、長野高専 古川研究室の出前講座「ふしぎ? 科学マジック」をテーマに、若槻コミュニティセンターで午前の部・午後の部の2回開催し、会場には50名を超える子どもたちや、その家族で賑わいました。

科学マジック

「パイプを登る生き物」、「割れない風船」などの科学を使った楽しいマジックに子どもたちはびっくり仰天。「なんで? やってみたい!」と次々に声が上がりました。講師の古川先生から、酸性・アルカリ性や形状記憶合金など種明かしの科学の説明があると、子どもたちからは「理科の実験が楽しみになった」、「風船に串を刺して割れないのが不思議」と次々に感想が発信されました。

古川先生から「自分の手でやるのが面白い。ゲームなど仮想的な遊びばかりでなく、工作でも料理作りでも実物の物を自分の手を使って体験することが大切」と将来を担う子どもたちに向けた温かいメッセージがありました。



科学おもちゃ

科学マジックのあとは、長野高専の卒業研究として作った「楽しんでもらう科学おもちゃ」の展示会場に移り、高専生からおもちゃの使い方の説明を受けました。おもちゃに自由に触れながら科学体験を楽しんだり、みんなで手をつなぎ静電気ショックを体験して盛り上がりました。最後に子どもたちは、科学おもちゃのお土産をもらい大切そうに持ち帰りました。(青少年部会)

今後の行事予定



行 事 名	月 日	時 間	場 所	関連部会等
認知症予防講座(2)	3月19日(水)	10時～11時30分	コミュニティセンター 大会議室	福祉部会
お母さんの何でもトーク	3月28日(金)	10時～12時	コミュニティセンター 三登山ホール	民協・福祉部会
若槻子ども文庫おはなし会	4月11日(金)	10時30分～12時	コミュニティセンター 三登山ホール	福祉部会
コミわか定期評議委員会(総会)	4月19日(土)	13時30分～	コミュニティセンター 体育館	コミわか